

3

師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙



2020. 7
NO. 132

師団職種博2020

～陸上自衛隊のお仕事紹介～

各種訓練・行事

- 師団職種博2020
- 師団第2回部隊相談員集合訓練
- 師団第1回施設技術訓練
- 特科隊戦技競技会
- 飛行隊第2次訓練
- 特殊武器防護隊第1次練成訓練

第3師団隊員紹介コーナー

- スウィートライフ
- 師団戦士
- 我が部隊の新戦力
- 私の思い出の一品

みんなの架け橋

自衛隊京都地方協力本部

職場の豆知識

夏だ、カレーだ

表紙写真：師団職種博2020

結索体験（第36普通科連隊）

第3師団職種博2020



陸上自衛隊全職種集結!!

（金）の2日間を募集広報の日として、令和2年7月23日（木）及び24日（金）の第3師団職種博2020を実施した。

このイベントは、近畿2府4県に所在する各自衛隊地方協力本部と連携して実施したもので、これから社会へ羽ばたく若者に向けて、職業としての陸上自衛隊を幅広く紹介することを目的に実施した。

職種博2020は、陸上自衛隊全16職種の説明ブースを開設し、それぞれ職種ごとの装備品や活動内容等について説明を行うとともに、野外炊事車により隊員が調理したカレーライスの体験喫食を実施した。

参加者は、各自衛隊地方協力本部を通じて申し込んだ高校生から32歳までの募集対象者及びその保護者等であり、2日間で約250名が参加した。参加者からは「隊員の皆さんは、とても気さくで優しく、入隊したいという思いが強まりました。」「あまり自衛隊に興味はなかったが、このイベントに参加して、とても興味を持ちました。」等、好評の声が数多く寄せられており、所望の成果を得て2日間をわたるイベントを終了した。



新型コロナウイルス感染防止に留意した説明



隊員が調理したカレーライスの体験喫食

高射特科



野戦特科



普通科



93式近距離地对空誘導弾及び81式短距離地对空誘導弾の操作の展示（第3高射特科大隊）



155mmりゅう弾砲擬製弾の重量体験（第3特科隊）



車両用エアジャッキ操作体験（第36普通科連隊）

機甲科



偵察用オートバイ乗車体験（第3偵察隊）



74式戦車による模擬射撃訓練の展示（第3戦車大隊）



16式機動戦闘車の展示（第14旅団第15即応機動連隊）



陸上自衛隊のお仕事紹介

施設科



施設機材操作要領の展示
(第3施設大隊)

航空科



多用途ヘリコプター (UH-1) の説明
(第3飛行隊)

情報科



無人偵察機の展示
(中部方面情報隊)

需品科



野外入浴用セットによる足湯体験
(第3後方支援連隊)

武器科



不発弾処理等の説明
(第3後方支援連隊)

通信科



野外通信システムの紹介
(第3通信大隊)

警務科



鑑識体験 (指紋の採取)
(中部方面警務隊)

化学科



化学防護衣 4 型の説明
(第3特殊武器防護隊)

輸送科



各種運転免許取得等の説明
(第3後方支援連隊)

音楽科



サクソによるアンサンブル
(第3音楽隊)

衛生科



胸骨圧迫 (心臓マッサージ) 体験
(第3後方支援連隊)

会計科



会計業務体験 (1億円の重さ)
(中部方面会計隊)



紀の川での渡河訓練

師団は、第3施設大隊（大隊長 工藤2佐）を訓練担任部隊として、令和2年6月29日（月）から7月3日（金）までの間、信太山演習場（大阪府）及び紀の川（和歌山県）において、令和2年度第1回施設技術訓練（渡河）を実施した。

本訓練は、渡河ボート及び偵察ボートを保有する各部隊の特技者等に対し、師団の任務遂行に必要な渡河技術の練度向上を図ることを目的として行われた。訓練では、漕航・機航における基本的な操作要領・安全管理等の教育、渡河ボートを使用した救助要領の訓練、競技会方式での漕航訓練等を行い、それぞれの技能を磨いた。

師団1回施設技術訓練



傾聴技法に取り組む参加隊員

本訓練は、各部隊において隊員から様々な相談を受ける役割を担う部隊相談員に対して、ストレス対処、相談対応要領等の識能の向上を図ることを目的として行われた。

集合訓練では、メンタルヘルス施策、傾聴技法、相談対応、ストレス対処技法等の教育・実習が行われ、それぞれの練度を向上させた。

参加隊員は、「普段からの声掛けや相手の話に対する相づち・うなずきの重要性を認識できた。部隊に戻ったら、隊員の相談対応に役立てたい。」等、所見を述べた。

師団第2回部隊相談員集合訓練



通信の部（有線構成）



測量の部（セオドライトによる測量）



砲班の部（155mm榴弾砲による射撃）

第3特科隊（隊長 高倉1佐）は、令和2年6月21日（日）から24日（水）までの間、あいば野演習場（滋賀県）において、令和2年度戦技競技会（通信・測量・砲班）を実施した。

本競技会は、真に戦える特科部隊の隊員及び班・組としての技能の向上を促すとともに、中隊・隊員の士気の高揚及び団結の強化を図ることを目的として行われた。

競技会は、練成の成果を遺憾なく発揮した第4中隊が通信・測量の2部門において、また、第2中隊第2砲班が砲班の部において、それぞれ優勝の栄冠に輝き、所期の目的を達成して終了した。

特科隊戦技競技会



主要幹線道路の除染

第3特殊武器防護隊（隊長 泉2佐）は、令和2年7月6日（月）から10日（金）までの間、青野ヶ原演習場（兵庫県）において、第1次隊練成訓練を実施した。

本訓練では、基礎となる部隊以下の練度を向上させることを目的として、第1次小隊訓練検閲で不十分であった事項を十分に警戒・自衛戦闘及び汚染地域の偵察・除染の各行動の是正を重視して練成めした。所望の成果を収めた。

特殊武器防護隊第1次隊練成訓練



戦場救護（ホイスト）

訓練開始前の隊容検査

第3飛行隊（隊長 深田2佐）は、令和2年7月6日（月）から8日（水）までの間、八尾駐屯地（大阪府八尾市）、信太山演習場（大阪府）、海上自衛隊舞鶴教育隊（京都府舞鶴市）等において、第2次飛行隊訓練を実施した。

本訓練は、隊の事態対処能力の向上を目的として行われた。

訓練は、隊本部の訓練検閲も併せて行われ、沿岸監視支援班の派遣から主力の展開地推進準備の場面において、隊本部の指揮・幕僚活動及び夜間における戦場救護（ホイスト）等について練度向上を図った。

飛行隊第2次訓練

スウィートライフ

「家族を守る決意」



第7普通科連隊重迫撃砲中隊
3等陸曹 今井 康貴
元陸士長 明日香 さん

今回は、第7普通科連隊重迫撃砲中隊で勤務する今井 康貴(いまい こうき)3曹・明日香(あすか)さんご夫婦へのインタビューです。

Q 出会は。

A 夫 同じ中隊の後輩です。
妻 同じ中隊の先輩です。

Q お互いの第1印象は。

A 夫 サザエさんのタラちゃんみたいな髪型でクールだなと思いました。

妻 恥ずかしがり屋(初めは緊張してか、全然目を見てくれませんでした。)

Q お互いの好きなお互いのところは。

A 夫 献身的に尽くしてくれるところです。
妻 考え方が似ているところです。

Q お二人の思い出は。

A 夫 富士訓練センターでの2ヶ月の教育期間中に会いに来てくれたことです。

妻 息子が生まれたことです。

Q プロポーズの言葉は。

A 夫 結婚してください。

妻 はい。

Q 新生活の感想は。

A 夫 大好きな妻と一緒に過ごせて幸せです。毎日がとっても楽しいです。

妻 お子様生まれた時のお気持ちは、夫 感激しました。より職務に精励し、家族を守る決意をしました。

Q お互いに一言お願いします。

A 夫 これからもずっとよろしく
妻 お願いします。

師団戦士

「充実！陸曹ライフ！」



第3高射特科大隊高射中隊
3等陸曹 荒倉 貴弘

今回は、第3高射特科大隊高射中隊に所属する荒倉 貴弘(あらかう たかひろ)3曹を紹介します。荒倉3曹は、平成31年1月、3等陸曹へ昇任し、令和元年12月、高校時代から7年間付き合っていた女性と結婚、幸せ一杯な隊員です。

Q 陸曹教育隊、入校年度は。

A 第133期、平成30年7月入校です。

Q 合格通知を受けた時の心境は。

A 本当の意味での自衛隊人生の始まりという期待と不安を感じました。

Q 印象に残っている訓練は。

A 総合訓練です。今まで教わってきたことの集大成であり、準備の段階から気合十分だったことを覚えています。

Q 特に学んだことは。

A 指揮の要訣(ようけつ)の重要性です。陸曹になつての勤務はどうですか。

A 各種訓練、係業務等陸曹としての立場で勤務する中で、日々新しい経験の連続で刺激的な毎日を送っています。

Q 陸曹を目指す後輩隊員に一言

A 心と身体に気を付け、自分に厳しく頑張ってください。

Q 新生活について

A 公私ともに充実しています。妻の手料理を毎日食べられて幸せです。
最後に一言
日頃からお世話になっている上司、同僚、先輩等への感謝の気持ちを大切にして、日々の訓練を頑張ります。

我が部隊の新戦力

「陸曹候補生になる」



第3特殊武器防護隊第2小隊
陸士長 小林 嵩明

今回は、第3特殊武器防護隊第2小隊に所属する小林 嵩明(こばやし たかあき)士長へのインタビューです。

Q 出身地、入隊年度は。

A 香川県出身、平成31年度入隊です。

Q 入隊の動機は。

A 人のためになる仕事を希望し、入隊しました。

Q 新隊員教育の区隊・班は。

A 110教育大隊333中隊1区隊1班です。

Q 新隊員教育での思い出は。

A 大津駐屯地から滋賀里訓練場まで約2kmをハイポートで移動したことです。

Q 現職務のやりがいは。

A 敵の特殊武器攻撃等で汚染された地域や部隊を排除することにやりがいを感じます。

Q 現職務で苦勞していることは。

A 真夏における化学防護衣を着用しての訓練は大変暑く苦勞しています。熱中症に気を付け、日々訓練に励んでいます。

Q 尊敬(目指している)先輩は。

A 同じ小隊に勤務している内田士長です。皆さん優しく、とても楽しい毎日です。今後は目標を教えてください。
最後に一言
一選抜で陸曹候補生試験に受かることです。もつと部隊の戦力になれるように頑張っていきます。

私の思い出の一品「おばあちゃんの梅干し」



第7普通科連隊重迫撃砲中隊
3等陸曹 須藤 孝寛

今回は、第7普通科連隊重迫撃砲中隊の須藤 孝寛(すどう たかひろ)3等陸曹から思い出の一品を紹介してもらいます。

私の思い出の一品は「平成30年7月豪雨」災害派遣期間に食べていた「おばあちゃんの梅干し」です。この梅干しは、私の祖母の自作で、派遣活動時の健康を気遣い持たせてくれました。祖母が作るこの梅干しは、塩と紫蘇だけを使い長年の感覚を頼りに作るといういたってシンプルなものですが、梅本来の味を生かし、パンチの効いた塩っ辛さが絶妙にマッチしていて絶品です。

派遣期間中は自分だけではなく、中隊の同僚や先輩、派遣当時の連隊長にも食べていただきました。熱中症や体調不良になることもなく、任務を無事に全うすることができたのは、この梅干しパワーのおかげだと思っています。祖母の家に行った際は、大好きな梅干しをいつもお土産に貰って帰ります。

これから訓練最盛期に入り暑い日が続きますが、「おばあちゃんの梅干し」を食べて厳しい訓練を頑張ります。

2府4県

みんなの架け橋

近畿2府4県に所在する各自衛隊地方協力本部からの情報発信コーナー！

第3師団の皆さん、自衛隊京都地方協力本部です。京都地方協力本部には、第7普通科連隊、第3施設大隊、第3特科隊等、第3師団出身の隊員が多く勤務しています。今回は広報官として、募集の第一線で任務を遂行する第3師団出身の二人を紹介いたします。



京都地方協力本部

- ① 原 隊
- ② 広報官のやりがい
- ③ 3師団の皆さんにメッセージ

山本直史 1等陸曹 (河原町募集案内所) 広報官歴7年目



- ① 第7普通科連隊
- ② 入隊希望者の方と信頼関係が出来、こちらも一生懸命誠実に対応した結果、入隊希望者の方の入隊が決まり、「ありがとうございます」と感謝された時
- ③ 一生懸命入隊希望者の方をサポートします。これからは、京都地本への協力・連携をお願いします。

高橋良輔 陸曹長 (京都募集案内所) 広報官歴3年目



- ① 第3施設大隊
- ② 入隊希望者の幸せ(自衛官になる夢)を叶えられる事
- ③ 部隊では経験出来ないことがあり、人として成長出来る職場ですので、3師団の皆さん京都地本と一緒に勤務しましょう。

京都地本からのお願い

京都地方協力本部では、感染防止対策に注意しながら募集活動を実施中です。来々年4月の入隊者の他、9月、11月入隊も募集しています。(陸・海・空の入隊時期や男女別は地本ホームページ又は直接お問い合わせください。) 防衛大・防衛医科大学も募集中です。お近くに自衛隊に興味のある方、進路に迷っている方等がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。個性溢れる広報官が入隊までしっかりとサポートします。個別に観光が可能になりました。是非、京都観光に「おこしやす」



イラストは、自衛隊京都地方協力本部長 亀井1佐 第7普通科連隊広報室 小柴3曹作成

【HP】 【Twitter】 【Facebook】 【Instagram】

【お問い合わせ】 京都地方協力本部広報室 内線8-723-521



職場の ママ知識

「夏だ、カレーだ」

今年も「夏といえば」というフレーズをよく耳にするようになりました。その答えは人それぞれだと思いますが、みなさんはこの問い掛けにどのような言葉を続けますか。私は、数ある中でも「カレー」と答えます。CMの影響もあってか特に違和感なく響きますが、よくよく考えると、暑い夏に熱いカレーという組み合わせに矛盾を感じる方もいるのではないかと思います。今回はそんなカレーを、改めて調べてみました。

カレーは明治時代の文明開化とともにイギリスから伝来したと言われ、国内において独自の進化を遂げて、今では国民食としての安定した地位を築き上げています。そのルーツをさらに遡ると、ご存じの通りインドに辿り着きます。

一口にカレーと言っても、その中身は、何十種類ものスパイスの配合によって複雑に構成されており、インドでは家庭ごとに味が異なるそうです。日本人の感覚でいう「おふくろの味」といったところでしょうか。

代表的なスパイスとして、ターメリック、コリアンダー、レッドチリペッパー等がありますが、その名前が何かの呪文のようで、謎の香辛料といったイメージがあるのではないかと思います。しかし、これらのスパイス名を馴染みのある言葉に訳すと、それぞれ、ウコン、パクチー、赤唐辛子であり、なんとなく健康に良いような気がしませんか。それぞれ健胃・整腸・食欲増進等の作用が知られており、夏バテの予防に効果があるとされ「夏だ、カレーだ」といわれる所以なのかもしれません。

カレーは現在も進化を続けており、最近ではスパイスカラーなるものが密かにブームを呼んでいるようです。色とりどりにスパイスが配された、まるでテーマパークのような一皿は、インドカレーとも異なる、大阪発祥の新しいタイプのカレーです。小粒なホールスパイス(形を潰していないスパイス)の余韻が長く続き、スパイスが体に染み渡っているという実感が得られます。もし街で見かけたら、一度ご賞味されてみてはいかがでしょう。これからは夏本番となりますが、熱中症には十分注意し、おいしく夏を乗り越えましょう。

第3師団 新シンボルマークの紹介



第3師団の新たなシンボルマークについて紹介します。このシンボルマークは、第3師団隷下各部隊に公募し、数多く寄せられた作品の中から厳正な審査を経て、第37普通科連隊第4中隊に所属する野村3曹のデザインが採用されたものです。

新シンボルマークのデザインについて、簡単に説明します。青数字の「3」は第3師団を指すとともに、それに囲まれた緑部分は第3師団の警備地区である近畿2府4県の地形を表しており、上部中央に配した国旗とともに、第3師団が国を背負い、防衛・警備を担任する近畿2府4県を守る強い意志を表現しています。「祖国を衛り」、「郷土を護る」は、師団長(梶原陸将)が考案したものです。

陸上自衛隊 第3師団



第3師団ホームページでは、過去の3師団だよりや、開催予定イベントの紹介などを逐次更新しています！ ツイッター、フェイスブックも更新しているので、是非遊びに来てくださいね！

ホームページ Twitter facebook



マク着用 ソーシャルメディア